

本校の教科指導の重点

- ア 生徒の個性、能力、希望に応じて、習熟度別、少人数編成、チームティーチング等によるわかりやすく楽しい授業を展開し、基礎的基本的な学力の定着と伸張を図り、自己実現を図る力を育む。
- イ 実習・体験学習を導入し、自ら学ぶ意欲を喚起し、社会性を育み、社会の一員としての自覚を高めるとともに、規範意識を醸成する道德教育を充実させる。
- ウ レポート、添削等生徒の学習状況を盛り込んだ学習評価や、意欲・態度等を重視した創意・工夫ある学習評価を取り入れ、学習意欲を高める。
- エ 基礎科目について、年度当初の学力調査を行い、課題を把握し、計画的に学力の向上に取り組む。また、体力向上の取組として、体力テストの結果に基づき、体育科を中心に計画的に推進する。
- オ 授業にユニバーサルデザインを取り入れ、学習に苦手意識を持つ生徒にもわかりやすい授業を展開する。その一環としてICT機器や Teams などの統合型学習支援サービスを活用する。
- カ 理科・保健体育・生活実践の授業を通して、日常生活に深く関わる事柄を中心に環境教育を推進する。
- キ 国語・新聞の読み方・英語・ハンゲル等の教科をはじめ全教科・科目で言語活動の充実を図るとともに読書活動を推進する。
- ク 「生徒による授業評価」を年2回実施し、その結果を共有し、授業改善に向けた校内研修を行う。